

ゆうばり 市議会だより



平成18年第1回臨時市議会にて
本年もどうぞよろしく

NO. 51

平成18年3月1日発行

発行 / 夕張市議会

編集 / 議会運営委員会

TEL(0123)52-3172(直通)

FAX(0123)52-2228

第4回定例会.....	2
可決された意見書	3
一般質問	4
第1回臨時市議会.....	3
特別委員会の活動状況.....	3
常任委員会の活動状況.....	6
議会日誌	8
編集後記	8

第1回定例会市議会
は今月開催です。

第4回 定例会

平成17年12月20日火～22日木

市連絡所の存続を求める請願を特別委員会に付託

平成十七年度補正予算など

十四議案を可決!

平成十七年第四回定例夕張市議会は、十二月二十日から二十二日までの三日間の会期で開かれ、平成十七年度各会計補正予算案、条例改正案などを審議しました。

また、「市連絡所の存続を求める請願」について、これを特別委員会に付託し、併せて提出された議案すべて原案どおり可決して閉会しました。

主な審議案件

平成十七年度各会計予算が追加補正されました

補正額については別表1(ア)を参照ください。

夕張市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

地方公務員法の改正により、人事行政の運営状況等の公表が地方公共団体の自主的措置から

法律上の責務として義務付けられたため、条例を制定しました。

夕張市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について

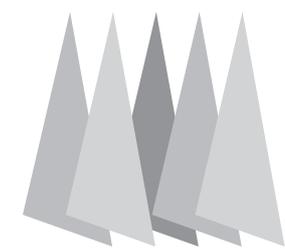
地方自治法及び地方自治法施行令の一部改正に伴い、長期継続契約を締結することができる契約を定めるため、条例を制定しました。

夕張市共同浴場設置条例の一部改正について

共同浴場の入浴料金を改定するため、条例の一部を改正しました。

夕張市リフレッシュセンター清陵設置条例の一部改正について

リフレッシュセンター清陵の入浴料金を改定するため、条例の一部を改正しました。



【別表1】平成17年 第4回定例会で議決した補正予算

会計	(ア)補正した額	(イ)専決処分した額	予算総額	主な補正予算内容
一般会計	1億8,906万7千円		136億1,475万6千円	原油価格高騰による小中学校等施設燃料費 人件費
国民健康保健事業会計	778万8千円		29億4,005万6千円	介護納付金
老人保健医療事業会計	244万5千円		36億2,348万1千円	人件費
公共下水道事業会計	461万円		30億 542万8千円	人件費
住宅管理事業会計	249万2千円		9億1,828万6千円	人件費
介護保険事業会計	8,419万1千円		15億 47万8千円	居宅介護及び居宅支援サービス等経費
水道事業会計	201万6千円		7億8,431万7千円 (資本的収支を含む)	第2ダム水位計修理

可決した意見書

平成十七年第四回定例市議会にて可決した意見書は次のとおりです。これらは、内閣総理大臣、衆・参議院両院議員議長、関係大臣等に送付しました。

- 第一号 議会制度改革の早期実現に関する意見書
- 第二号 「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書
- 第三号 北海道財政の再建についての意見書
- 第四号 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書
- 第五号 建設業等の経営基盤の安定および季節労働者の雇用と生活の安定を求める意見書
- 第六号 改造エアガン対策の強化を求める意見書
- 第七号 「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書

特別委員会活動報告

ダム・道路開発特別委員会要望行動について

(1) 要望年月日

平成十七年十二月六日

(2) 要望先

石狩川開発建設部、札幌開発建設部、札幌土木現業所、東日本高速道路株式会社

(3) 参加者

副議長・委員長・他九名

夕張シューパロダム建設促進に関する要望行動及び北海道横断自動車道・夕張十勝清水間の早期完成に関する要望行動の実施について

第1回 臨時市議会

平成17年11月28日 月 ー 29日 火

平成十七年第一回臨時夕張市議会は、十一月二十八日から二十九日までの二日間の会期で開かれ、夕張市職員給与条例の一部改正・まちづくり政策特別委員会の設置等を審議しました。

主な審議案件

夕張市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく、一般職員の給与改定に準じ、条例の一部を改正しました。

夕張市職員給与条例の改正について

人事院勧告に基づき、市職員の給与条例の一部を改正しました。

夕張市観光施設設置条例の一部改正について
レースイスキー場リフト料金

を改定するため、条例の一部を改正しました。

夕張市教育委員の任命について

教育委員安藤政子氏任期満了に伴い、現委員を引き続き任命同意しました。

まちづくり政策特別委員会の設置について

まちづくり政策に関する事項（公的施設のあり方、指定管理者制度、これらに関するコミュニケーションのあり方）に関し必要な調査を行うため、特別委員会を設置しました。

委員には、議長を除く議員全員による構成とし、委員長には、千代川則男氏、副委員長には、田口久一氏が選任されました。

平成十七年度一般会計補正予算の専決処分を承認しました

一般会計予算において、道々夕張岩見沢線道路改良に伴う支障物件移設撤去工事を行うため、補正予算を専決処分しました。

一般質問

平成17年12月20日(火)・21日(水)

農業、産業振興について

質問(1) 長芋の生産戸数、生産量、対前年比は。

答弁(1) 平成十七年は長芋の生産量が確定しておりませんので、平成十五年と平成十六年の比較とさせていただきます。平成十五年は作付面積十七・一ヘクタール、作付戸数六十九戸、生産量二百三十九トン、生産額七千六百五十七万円。平成十六年は作付面積十六・七ヘクタール、作付戸数六十七戸、生産量二百二十トン、生産額は六千八百八十六万円であります。

平成十七年第四回定例市議会における一般質問者は、次のとおりです。

正木 邦明議員(市民連合)
新山 純一議員(高志会)
高橋 一太議員(民政クラブ)
小林 孝雄議員(公明党)
熊谷 桂子議員(共産党)

の順で行われ、市理事者の考えをたきました。
質問と答弁の主な内容は、次のとおりです。

まいりました結果、夕張産の長芋に加えて、穂別産の長芋の使用についても許可があったところであり、今後は、夕張産穂別産を合わせて使用することが出来ることとなったため、原料の不足による焼酎等の欠品は、解消されます。

観光問題について

質問 映画祭の次年度以降の開催について

答弁 これまでの映画祭では、道内はもとより全国の報道機関が報道する映画祭に関する量の多さは、広告代理店の試算で宣伝費に換算して二十八億円余りといわれております。

私は、ゆづり映画祭が市民の支えにより、すぐれたイベントであると判断しており、行財政正常化に取り組んではおりますが、市民参加による映画祭としての評価、観光事業における成果など総合的に判断して、映画祭は今後も継続すべき事業であると考えております。

福祉問題について

質問 介護福祉施設を将来的に見てふやす必要性はないのか。
答弁 平成十七年十二月一日現在

在市民の待機者は、特別養護老人ホームで四十六名、老人保健施設で二十九名です。

その内容は他の施設との重複申込者、将来のための入所申込者、介護度の軽い申込者などがあり、実際の入所可能者は少なくなっている現状にあると施設側から聞いております。

なお、高齢者に対応する施設としては、有料老人ホーム等の福祉施設の誘致を進めてまいりたい。

市立総合病院について

質問 市立総合病院のあり方についての基本的考えは。

答弁 本市の少子高齢化の中にあつても市民の生命と健康を守るために公立病院を維持していくことを大前提とし、現在の医療サービス提供の維持について検討してまいりたい。

国旗・市旗等の問題は

質問 夕張市として国旗国歌市旗の取り扱いをどのように考えているか。

答弁 市など行政機関が主催する公式行事の際、これらの対応をすべきと考えている。今後は、公式行事には会場内に国旗並び

に市旗を掲揚するよう対応を統一していきたい。

農業問題について

質問(1) 道営農地総合整備及び道営中山間地域総合整備事業完了後の畑地整備計画について。

答弁(1) メロン農業は夕張市の基幹産業であります。今後新たな国の補助制度を活用した農地整備事業には六十ヘクタール以上の計画農地が必要となるので、平成十八年度に策定する第十二次農業振興計画の中で検討をしていきたい。

質問(2) 市道富野一号線の道路整備について。

答弁(2) 富野川河川改修を平成十五年度、十八年度事業として実施中であり、河川改修に伴う富野一号橋の改修については後の農道整備に支障のないよう線形勾配等を協議し架設することで現在進めている。引き続き北海道に対して道営農地整備事業として採択されるよう要望してまいります。

都市計画区域と都市計画税について

質問(1) 都市計画区域の指定見直しについて。

答弁(1) 都市計画区域の指定の基本的なルールとしては、都市の連続性のある一体的な区域として北海道知事が指定するものである。現時点で連続性のある一つの区域として指定された都市計画区域から農業振興地域を除外する見直しは原則の一体化した都市計画区域とならないため大変難しい。

質問(2) 都市計画税の課税不均衡に対する対応について。

答弁(2) 農業振興地域の課税問題は、平成十八年度中に他市の課税実態を十分調査し、本市における諸問題を整理し見直しに向けて検討したい。

観光問題について

質問 市民協力によるイベント事業の成果について

答弁 農協青年部とホテルとのタイアップによるメロンの対面販売、歴史村でのメロンフェスティバルは夕張の特産品のPRにもつながり観光客にも好評を得ていることから今後も継続実施していきたい。

市内の情報インフラの充実に関する問題について

質問 夕張市内の光ファイバー

通信設備の促進について

答弁 情報セキュリティ化やITの利活用は近隣の自治体と比べ出おけている。特別な情報化先進自治体を目指すことはできないが、今後情報通信インフラの整備は避けて通れないと考えている。

介護保険制度について

質問(1) 新たな支援事業の検討と各種福祉事業の見直しは

答弁(1) 現在新たに支援事業として義務付けられるものや支援事業として引き続き実施するものなど、十八年度に向け検討を進めている。

質問(2) 地域包括支援センターの設置は

答弁(2) 平成十八年度より設置が義務付けられたので、十八年四月一日より市直営にて設置することで取り進めている。

質問(3) 介護保険制度見直しによる保険料基金充当について

答弁(3) 平成十八年、二十年度の保険給付費・介護保険料は現在算定中である。保険料が大幅に変動するときは、平準化を図るため介護給付費準備基金を充当していきたい。

行政機構について

質問(1) 各出先機関の体制等における考えについては。

答弁(1) 日頃から親切・丁寧・適切な対応を心がけるよう、さらには各担当部の所属長にも出先機関との連携を密にするよう指導している。

再質問 具体的には、どのように連携を密にしているのか。

答弁 所管部長等から報告を受け、市長に報告し、しかるべき措置をしているが、何かあれば情報提供も含めてお願いしたい。

質問(2) 行政機構の改革に伴う嘱託職員・臨時職員の今後の考え等については。

答弁(2) 基本的には嘱託・臨時職員をふやして対応する考えはなく、行財政正常化対策を遂行していくには、更に総体的削減が必要であると考えます。

病院問題について

質問 市立総合病院の今後のあり方については。

答弁 医師・看護師不足等々総合的な諸課題を踏まえ、慎重に検討し基本的な考えを示したところである。様々な問題点を含めた中で、議会の中でも論議を

深めまた、関係機関の要請を強め、今後も最大限の努力をしていきたい。

特産品開発について

質問(1) 新たな特産品(ポトルウオーター)開発の考えについては。

答弁(1) 夕張の豊富な水道水を貴重な資源として活用する特産品観光宣伝としての製造販売は、新たな事業としての提案という事で慎重に検討していきます。

質問(2) 商品化するにあたっての試算・諸課題等については。

答弁(2) 事業化については、設備投資など様々な諸課題があり、ますので慎重に検討していきます。

移住促進事業について

質問 移住促進に伴う本市のPR事業等への考えについては。

答弁 人口の維持、人口増のための移住促進対策は必要であり、ますので、関連部署と連携を取り、ますは夕張市に縁のある方々にむけてのPR促進をしていきます。

まちづくり行政について

質問 団塊世代の活力を生かしたまちづくりについて。

北の大地への移住促進事業について。社会貢献による協働のまちづくり。団塊世代の提案による地域づくり。

答弁 本市では、この世代は約千人おり、人口の約8%にも相当します。移住促進に係わる滞在事業は、移住を考えている人にとつて、直接現地に赴き、市民と接し、生活環境を調べ、体験したりすることは有効なことであり、このような滞在の体験を進めるため、宿泊施設の受入体制が必要であり、本市の場合、賃貸住宅等の方法もあり参考にさせていただきます。経験豊かな世代の知識や技能を生かした社会貢献は、有効な事であり、本市での「シルバー人材センター」「ワーク指導員派遣事業」の指導員への参加の内容の充実や広報等での紹介を行ってまいりたい。団塊世代の提案による「委託モデル事業」については、団塊世代の地域づくりへの参加を促進することになり参考にしてまいりたい。

高齢者福祉について

質問(1) 高齢者を守る虐待防止に伴う今後の取り組みは。

答弁(1) 平成十八年四月に設置予定の地域包括支援センターで高齢者虐待防止のため、相談、指導、助言を行うことになり、関係機関と連携し、高齢者虐待及び養護者への支援の問題にも取り組んでまいります。

答弁(2) 制度の見直しにより十八年四月より、全ての事業者の情報開示が義務化され、指定居宅サービス等の人員、設備、運営に関し基準にもとづき、事業者は、一般に公表します。

保健・医療問題について

質問 生活習慣病の健診体制と予防知識の普及について。

答弁 生活習慣病健診は、集団健康診査として、二十三日間、十三会場で七種類の健診を実施し、本年の受診者も全体で五千五百二十五人です。さらに保健指導が必要な方には「糖尿病予防教室」「健康相談」や家庭訪問による保健指導も行っています。

介護保険制度について

質問(1) 新予防給付と地域支援事業について。

答弁(1) 新予防給付の対象者の決定は、従来の介護認定審査会で審査をし、予防プランは、地域包括支援センターの保健師が作成しますが、居宅介護支援事業者への委託も含めて検討します。地域支援事業については、新たな支援事業や現在実施している福祉事業もあり、検討してまいります。

質問(2) 良質な介護サービスの提供について。

答弁(2) 介護保険料の値上げや、税制の改正によって非課税世帯が新たに課税となり介護保険料の段階が上がります。また年金より負担額が高くなるなど不安が広がっている。低所得高齢者に対する市独自の減免制度をつくり、利用者への負担、結果的には事業者への支援を図るべきでは。

答弁(2) 国と同様に二力年の段階的激変緩和措置のほか、本市の国民健康保険に準じて定めた介護保険減免は引き続き実施。

学童保育について

質問 学童保育は共働きが一般的な現代、少子化問題、人口の流出の歯止めにも有効であり、市民懇談会でも強い要望が出されている。また、痛ましい児童連続殺害事件や市内通学路での変質者の出没など社会的な不安要素が激増している昨今、放課後児童の安全管理が急務であることから、学童保育利用希望者は全員が利用できるよう予算措置をすべきではないか。

答弁 必要性は十分認識しているが空き教室など適当な施設がなく、現在開設は困難だが重要な課題なので引き続き検討する。

再質問 先日の市民懇談会でも、市民アンケートでも学童保育の充実があげられている。公的施設の間借りやプレハブ等、少しでも早い時期に、全小学校区での実施を強く要望する。

肺炎球菌予防ワクチンについて

質問 肺炎球菌ワクチンは高齢者の肺炎予防に効果が高いことからWHOが奨励、米国・カナダでは一般的、国内でも二十三日町村が公費補助を実施。なかでも瀬棚町は他の予防医療とともに高齢者の健康増進や医療費大幅削減に効果をあげている。

本市でもこのワクチンに公費補助制度をつくり、高齢者に接種を働きかけるべきでは。

答弁 道内では五町が実施。今後他市町村の実施状況を参考にしたい。

質問 千歳基地に近い本市において、夜間飛行訓練の危険性や、騒音による市民生活への影響が懸念される。まず、何よりも国際平和の実現に向けて、国が最優先してその取り組みを強化することが重要。今後の対応については、道や近隣市町村の動向を見ながら、しかるべき対応をしたい。

質問(1) 今年十月の法改正による、介護保険利用状況の変化は。

答弁(1) 平成十五年度から十七年度へ推移は施設利用者で二百一人から二百二十七人へ、在宅利用者で三百六十一人から三百九十四人へと増加している。今年十月一日より居住費・食費の負担が増えているが現段階では利用者は減っていない。十八年度のしかるべき時期に調査を実施したい。

常任委員会の活動状況

平成十七年十月、十二月

消防本部

行方不明者の捜索について
本町出張所の体制について

総務部

人事異動について
平成十七年度夕張市功労表彰

総務文教 常任委員会

第十回 十月六日 出席五名

の決定について

地域懇談会の実施について

選挙管理委員会

第四十四回衆議院議員総選挙

及び第二十回最高裁判所裁判

官国民審査の結果について

教育委員会

夕張市における小・中学校の

適正配置に関する答申につい

て

中学生傷害事件のその後の経

過と対応等について

第十八回全国スポーツ・レク

レーション祭への出場につ

いて

第十一回 十一月十八日

出席五名

教育委員会

当面のユーパロ幼稚園の方向

性について

第十二回 十一月二十八日

出席五名

審査事項

第一回臨時市議会一日目に付

託された案件の審査

議案第三号夕張市職員給与条

例の一部改正について

議案第五号夕張市企業職員の

給与の種類及び基準に関する

条例の一部改正について

総務部

条例の一部改正について

・夕張市議会の議員の報酬及び

費用弁償等に関する条例

・夕張市特別職給与条例

第十三回一日目 十一月三十日

出席五名

総務部

地域懇談会の開催について

国勢調査の概数について

・二酸化炭素炭層固定化技術開

発事業について

・アスベスト処理対策について

教育委員会

平成十八年度以降の新たな幼

稚園運営について

夕張市教育研究所の廃止につ

いて

通学費補助に係る説明会につ

いて

平成十八年夕張市成人祭につ

いて

第十三回二日目 十二月二日

出席五名

消防本部

火災の発生について

救助出動の概要について

ドクターヘリ要請の概要につ

いて

行方不明者搜索の概要につい

て

職員団員の人事異動について

二日間にわたって各部とも、

平成十六年取りまとめ事項に

関するその後の経過・対応と

平成十七年の取りまとめが協

議された。

第十四回 十二月十六日

出席五名

消防本部

火災の発生について

救助出動の概要について

・叙勲の伝達について

・歳末特別警戒の日程等につい

て

平成十八年消防出初式の日程

等について

補正予算について

総務部

平成十七年度国勢調査結果（概

数）の修正について

・南空知ふるさと市町村圏組合

を組織する地方公共団体の数

の減少及び同組合規約の変更

並びに財産処分に関する協議

について

条例の制定について

・夕張市人事行政の運営等の状

況の公表に関する条例

・夕張市長期継続契約を締結す

ることができる契約に関する

条例

補正予算について

教育委員会

補正予算について

夕張市立幼稚園園則の一部改

正について

財政部

年末特別徴収等について

平成十七年度特別交付税十二

月交付額の決定について

平成十七年度一般会計補正予

算（財政部所管）について



第十回

十一月二十一日

出席六名

建設水道部

平成十七年度一般会計補正予

算の専決処分について

観光対策本部

マウントレースイススキー場料

金改定に伴う夕張市観光施設

設置条例の一部改正について

第十一回一日目 十一月三十日

出席六名

建設水道部

夕張シューパロダム基本協定

の変更について

平成十七年度道道夕張岩見沢

線「平和」清水沢」間の工事

状況について

平成十七年度道道夕張岩見沢

線「3・4・3千代田丁未線

街路事業」の工事状況につい

て

平成十七年度高速道路「楓・

登川地区」工事に伴う市道切

替工事の延期について

の供用開始について

平成十七年度雪害対策協議会

の開催結果について

第十一回二日目 十二月二日

出席六名

産業経済部

（株）夕張卸売市場に係る財産状

況報告集会の状況について

地域雇用創造支援事業の取り

組みについて

まちづくり推進委員会からの

要望について

旭林道の災害認定について

平成十七年度夕張メロンの取

扱高について

夕張精密株式会社の社名変更

について、平成十七年十月一

日よりシチズン夕張株式会社

に変更

観光対策本部

ホテルシューパロ「アスベスト」定量分析結果について
長いも焼酎「琥珀乃鼻」の出荷について

「北の零年」希望の杜入り込み状況について

「石炭の歴史村」等の入り込み状況について

「ユーパロの湯」ポイント二倍デーについて

「ユーパロの湯」年末・年始の営業時間の延長について

「北の零年」希望の杜桜移植について

鹿島「北の零年」ロケセット解体について

「ワンダーバレーゆうばりがわら版」の発行について

ゆうばり国際映画祭二〇〇六の概要について

オリジナルワイナラベル作成の機器設置について

二〇〇六SIAフェスティバルの開催について

映画祭ポスターの在庫状況について

二日間にわたって、各部とも平成十六年取りまとめ事項に関するその後の経過・対応と

平成十七年の取りまとめが協議された。

第十二回 十二月十五日

建設水道部

平成十七年度夕張市各会計補正予算について

平成十七年度夕張市水道事業会計補正予算について

市営住宅の住宅火災用火災警報機の設置と入居者への周知について

平成十七年度降雪量及び除雪出動状況について

産業経済部

平成十七年度夕張市一般会計補正予算について

平成十七年度夕張市一般会計の補正予算について

リースイスキー場「カウントダウンナイト」について

街路事業に伴う歴史村管理事務所移転について

ゆうばり国際映画祭2006の会場変更について

MCPイベントに関する業務の主な発注先について

MCP職員の歴史村移行に伴うMCP実施機構のあり方について

厚生

常任委員会

第十一回 十一月二十四日 出席六名

市民福祉部 国民健康保険高額医療費の取り扱いについて

共同浴場入浴料金の改定について

年末年始の対応について

医療機関の動向について

乳がん検診の実施について

市立総合病院の今後のあり方についての検討経過

二日間にわたって、各部とも平成十六年取りまとめ事項に関するその後の経過・対応と

平成十七年の取りまとめが協議された。

第十二回 十二月十四日 出席六名

市民福祉部 夕張市沼ノ沢歯科診療所歯科医師の異動について

各会計補正予算について

議会目録

平成17年11月～18年2月

11月

- 11日 全国市議会議長会第79回評議委員会・第161回理事会・分権改革推進会議（東京都）
- 21日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会
- 28日 第1回臨時市議会（29日まで）
- 29日 ダム道路開発特別委員会

12月

- 6日 ダム道路開発特別委員会・要望行動（札幌市）
- 13日 まちづくり政策特別委員会
- 13日 議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 第4回定例市議会（22日まで）

1月

- 13日 議会だより編集委員会
- 16日 まちづくり政策特別委員会
- 24日 議会だより編集委員会

- 30日 空知市議会議長会懇話会総会（歌志内市）
- 31日 第1回臨時市議会

2月

- 2日 全国市議会議長会産炭地域振興協議会141回総会（東京都）
- 9日 全国市議会議長会分権改革推進会議・第162回理事会・第80回評議会（東京都）
- 15日 全国高速自動車道市議会協議会第32回定期総会（東京都）
- 16日 広域行政圏市議会協議会第37回総会（東京都）

来夕議会

- 11月 1日 宮城県大和町議会
- 11月15日 静岡県小山町議会
- 11月17日 三重県議会
- 1月17日 千葉県市原市議会
- 2月 1日 愛知県田原市議会

編集後記



昨年末から正月にかけて、豪雪や火災による死亡事故が全国各地で発生しました。

東北や北陸の雪害も遠くの出来事と思っていましたら、夕張にも久しぶりの大雪が来て、火災では焼死者が出て、年が明けから交通事故死者が二名も発生するという事態です。

災害や事故は起きてしまえば高齢者の多い夕張では大変です。「お年寄りが安心して暮らせ

るまちづくり」と口では簡単に言いますが、多種多様な現象があり、自然との戦いも深刻です。消防や、市の担当者まかせにせず、自らの注意、地域の助け合いなど、日頃の備えで、万が一の場合には対処していこうではありませんか。

編集委員

- 委員長 田口久一
- 副委員長 高橋一太
- 委員 板谷信男
- 委員 大西ヨシ子

ご意見・ご感想をお寄せください。

ご意見の連絡・送付先 夕張市議会事務局

本町四丁目五二 三二七二